

13. 水平な場所でのストレッチャー移送の場合、患者の頭を先行させ、顔色を確認しながら進む。
 × 患者の足
14. 仰臥位から 30~60 度くらいに上半身を起こした体位をシムス位という。
 × フォウラー位
15. 体内の循環血液量は静水力学的圧力により立位で減少する。
 ○
16. ベッド上で患者を仰臥位から側臥位にする場合、患者の腕は伸ばした状態で、膝は屈曲させてから体位変換
 × 両腕を深く組
17. 褥瘡発生のリスクを予測するためのスケールで代表的なものはブレーデンスケールである。
 ○
18. ボディメカニクス活用のポイントとして、看護者の体の重心は基底面の外側にあると動きが安定してよい
 × 内側
19. 仰臥位では体重の約 45%が頭部に加わる。
 ○
20. 日常生活動作を応用した活動（買い物・洗濯・服薬など）のことを包括的 QOLという。
 ○
21. 「廃用性症候群(disuse syndrome)」とは安静臥床や身体の不動性によって生じる心身の障害の総称である
 ○
22. 体重 (kg) / 身長 (m) ² で計算される栄養状態の判定法の指数をカウプ指数という。
 × BMI
23. シーツ交換の際には、ベッドブラシは足元から頭に向かって使用する。
 × 頭から足
24. 清拭時に用意する湯の温度は一般的に 40℃ 程度である。
 × 50℃~52℃
25. 陰部洗浄は腰部の安静が必要な患者には行わない。
 × にも行わない
26. 体温を下げるための効果的な冷罨法の部位は額部である。
 × 表在に近い動脈
27. 湯たんぽは直接患者の足先につけるようにして使用する。
 × 身体から 10cm
28. 氷枕には一般的に氷を全体の 2/3、空気を 1/3 入れるのが良い。
 × 水
29. 空気の熱伝導率は水の熱伝導率より高い。
 × 低い